

Case : 289

転倒した際、手すりの隙間に頭を挟んでしまう

場面の説明

転倒したはずみで首が床置き形手すりの隙間に入り込んでしまい、抜けなくなってしまった



利用シーン

 起居・就寝

主な利用場所

 寝室

介護保険の種目

 手すり

分類コード (CCTA95)

123009 (床置き式起き上がり用手すり)

介護テクノロジー

—

二次元バーコード



解説

実際に死亡事故が起こってしまった事例です。手すりは転倒を防いだり、立ち上がりを補助する目的で使用するものですが、配置が不適切であったり、本来手すりを安全に使用できない人に用いたりすることで、かえって危険になってしまうことがあります。適切な配置を検討し、十分に説明することはもちろんですが、利用すること自体が適切であるかどうかの判断が重要です。

参考要因

モノ：ちょうど頭が入り込んでしまう隙間があった
環境：設置場所が悪かった